

暮らしやすい鈴蘭台のまちをめざし

駅前まちづくり ニュース

発行：鈴蘭台駅前再開発検討部会



平成12年2月16日

5

号

新たな参加者を加えて、勉強会を開催！

1月25日（火）午後7時30分より、勉強会を開催しました。

これまでの意見をおさらいしながら、「たとえば、こう考えたら…」をはじめました。

駅前の大きな地図の上で、模型などを使いながら、バスやタクシーの回転スペースや広場の大きさなどを確認し、具体的なまちづくりイメージを検討しました。

●第5回勉強会での意見等●

『いろいろなケースをみんなでざっくばらんに考え、話し合ってみよう！』ということとで始めました。まずその第1回目としては...

●たとえば、こう考えたら...

- 一度に最終形まで整備するのに時間がかかるのなら、駅前まちづくりを段階的に行い、魅力アップとまちづくりPRを行いながらすすめてみる。
- まずは駅前の一部分で、小さな駅前広場の機能確保と店舗リニューアルを考える。
- 駅前広場と店舗を立体的に重ねてコンパクトに考えてみる。
例えば、1階は交通広場、2階は店舗とする。法制度上の課題はある。
- 神鉄運輸サービスのミニバスとタクシーの回転広場を確保してみる。
- 歩行者の広場やたまりをつくって、安全を確保してみる。

●みなさんのご意見は...

- 小さな駅前広場では、かえって混雑してしまうのではないか。
- 駅前でバスが待っているようになれば、バス利用が増えるかもしれない。
- まちづくりのPRにはなるが、どこまで活性化に効果があるのかわからない。
- 小さな部分では魅力づくりまでの効果はないのではないか。もう少し広い範囲で考えたほうがよいのではないか。
- 段階的に進めるにしても、最終の形がわからないと第1歩が踏み出せないと思う。
- 最終形までに時間がかかりすぎると、途中で待てなくなる。
- 経済成長が望めない時代の再開発のあり方について、地権者で勉強しなければと思う。



■ 図面と模型を囲んで検討中です

※次回は2月22日（火）午後7時30分より鈴蘭台自治会館2階で行いますので関心のある方はふるってご参加下さい。

連絡先：UR（株）都市・計画・設計研究所 TEL078-821-6716

（検討作業のお手伝いをしているまちづくりコンサルタント）